

令和5年度第1回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会会議録

議題	(1) 患者支援センターの業務実績について (2) がん相談支援センターの業務実績について (3) 救急搬送状況について (4) その他
日時	令和5年6月23日(金) 午後7時00分 開会 午後7時35分 閉会
場所	ZOOM会議
出席者氏名	大木教久委員長、松井久芳副委員長、佐藤崇委員、山口哲也委員、小笹貴夫委員、菅原一朗委員、佐藤貴之委員、榎本浩幸委員、大久保敦子委員 事務局(中沢事業管理者、藤浪病院長、栗山副院長、岩澤事務局長、益原患者支援センター所長、福田診療部長、河野中央診療部長、山岡看護部長、江崎患者支援センター担当長、岡野がん相談専従看護師、高瀬医事課長、大山患者支援センター看護師主査)
資料	<ul style="list-style-type: none">・ 地域医療支援委員会次第・ 1-1 令和4年度 紹介率・逆紹介率・ 1-2 診療科別紹介率・逆紹介率・ 1-3 紹介元・逆紹介先医療機関一覧・ 1-4 予約検査の件数表・ 1-5 患者支援センター相談実績・ 1-6 地域医療機関と連携した研修会等実績・ 1-7 登録医救急診察専用回線集計表・ 2 がん相談支援センター実績報告・ 3-1 医療機関別救急車搬送患者受け入れ状況・ 3-2 茅ヶ崎市消防 茅ヶ崎市立病院搬送状況・ 3-3 循環器HOTLINE集計表・ 4 令和5年度地域医療支援行事一覧
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0名

<午後7時00分 開会>

○事務局（益原患者支援センター所長）

皆様こんばんは。委員の皆様におかれましてはお忙しいところ茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会にご出席いただきましていつもありがとうございます。本日、事務局進行を努める患者支援センター所長の益原です。よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまより令和5年度第1回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を開催いたします。本委員会は、茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規則による運営に替わり、令和5年3月31日に施行された、茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規程に基づく委員会となりました。本日FAXでお送りさせていただいた資料に、新旧の規程、及び規則がありますので、御確認をお願いいたします。本日の出席者は委員10名に対しまして、6名の出席があるため、茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規程第5条第2項の規定である過半数を満たしておりますので、委員会が成立いたしますことをご報告いたします。

なお、茅ヶ崎市立病院はこの4月1日より経営形態が地方公営企業法全部適用となり、新体制となっています。会議に先立ちまして、茅ヶ崎市病院事業管理者となりました、中沢よりご挨拶を申し上げます。

○事務局（中沢明紀事業管理者）

皆様こんばんは。4月に茅ヶ崎市病院事業管理者を拝命致しました中沢でございます。本日は大変お忙しいところ、本年度の1回目の地域医療支援委員会にご出席していただきまして、まことにありがとうございます。日頃より先生方におかれましては、市立病院の運営にご理解を承っていますことをこの場をお借りして感謝申し上げる次第でございます。私は3年間、茅ヶ崎の保健所で保健所長としてコロナ対策をしてきたところでございますが、4月から病院の方に参りました。先ほど益原先生からお話しがありましたように、いわゆる地方公営企業法全部適用に移行して病院事業者管理者を新たに配置して特に経営面での評価となってくるところでございますけれど、つまり当院の本質的な立ち位置は何ら変わっているところではございません。今まで以上に当院の基本理念であります、共創すなわち患者さんや地域の医療機関と共に効率的かつ効果的な医療を創り社会に貢献してまいる所存でございますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（益原患者支援センター所長）

引き続き病院長の藤浪よりご挨拶を申し上げます。

○事務局（藤浪病院長）

皆さんこんばんは。4月から病院長になりました藤浪です。只今お話しがありましたように、中沢事業管理者とともに4月から病院経営、病院運営をみていきます。先生方には日頃からお世話になっておりまして、今年度はポストコロナの時代に入り、当院も一般医

療を中心に活躍していきたいと考えております。昨年最後の会議でもお話ししましたが、今年度から1つは、手術支援ロボットのダヴィンチが入りまして7月からいよいよ稼働開始で、まずは泌尿器科の前立腺癌から開始となりまして、7月中には外科の直腸癌から開始となります。外科は直腸癌のあと結腸癌の手術をやって行く予定でいます。もうひとつは新しい放射線治療装置が入りました。こちらに関しましては、5月から稼働しております。機械としては、横浜市大の大学病院と同じ機械、かなりいい機械が入っていますので、先生方におかれましては、例えば在宅で診ていてどうしても緩和として、照射して疼痛を緩和するということがありましたら原因となる診療科の先生を通じて、放射線治療を依頼していただければ、例えば、骨転移に関しましては1回照射だけで終わるものもありますので、また何かありましたらご協力いただければと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

○事務局（益原患者支援センター所長）

それでは、議事に入ります。本日の会議の資料の確認と差し替え資料がございましたので、そちらの確認をさせていただきます。江崎の方からよろしくお願いいたします。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

まずはじめに、資料の確認をさせていただきます。事前に配布させていた資料といたしまして、

資料1-1 令和4年度 紹介率・逆紹介率（3月）

資料1-2 2023年3月診療科別紹介率・逆紹介率

資料1-3 茅ヶ崎市立病院 紹介元・逆紹介先医療機関一覧

資料1-4 予約検査

資料1-5 令和4年度 相談日誌（延件数）

資料1-6 令和4年度 地域医療機関と関連した研修会等実績

資料1-7 登録医救急診察専用回線による紹介患者集計表

資料2 令和4年度 がん相談支援センター実績報告

資料3-1 2022年度病院別救急車搬送件数の状況（茅ヶ崎市消防）

資料3-2 茅ヶ崎市消防 令和4年度 茅ヶ崎市立病院搬送状況（行政地区別）となっています。資料3-1と3-2に関しましてはお送りした資料のデータの数値が誤っているため、本日FAXでお送りさせていただきました。お手元に届いておりますでしょうか。また追加資料としてFAXでお送りさせていただいた資料として、茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規則と茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規程となります。こちらもお手元に届いておられるかと思っておりますので、あとでご確認していただければと思っております。資料の確認は以上となります。

○事務局（益原患者支援センター所長）

それでは、これより先の議事進行につきましては大木委員長にお願いいたします。大木委員長、よろしくお願いいたします。

○大木委員長

こんばんは。今年度もこの委員会の委員長をさせていただきます。よろしくお願いいたします。円滑な議事進行を心掛けてまいりますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。それでは議題に移ります。まず、議題（１）の患者支援センターの業務実績について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

それでは、令和４年４月から令和５年３月の患者支援センター 業務実績について、説明させていただきます。患者支援センター担当長の江崎です。宜しくをお願いいたします。それでは資料の画面共有をさせていただきます。

資料１－１をご覧ください。

令和４年度 紹介率・逆紹介率の表となります。年度累計の紹介率、逆紹介率をご覧ください。令和４年４月から令和５年３月の紹介率の平均は、82.8%、逆紹介率の平均は、80.1%です。令和３年度平均と比較して紹介率・逆紹介率は緩やかな上昇が見られています。令和４年１０月より選定療養費が5,500円から7,700円に増額され初診患者数が減少したことが要因の一つと考えられます。地域医療支援病院の承認要件である紹介率・逆紹介率80%以上の基準も満たしております。

資料１－２をご覧ください。

令和４年度 診療科別 紹介率・逆紹介率の表です。令和４年４月から令和５年３月の右上の年度累計をご覧ください。紹介率は、呼吸器外科、腎臓内科、循環器内科の順に、また逆紹介率は、代謝内分泌内科、腎臓内科、呼吸器外科の順に高くなっています。

紹介患者数の多い診療科は消化器内科が2,523件、放射線診断科が1,810件、整形外科が1364件となっております。

逆紹介患者数の多い診療科は消化器内科が3,211件・放射線診断科が1,814件・循環器内科が1493件となっております。

また歯科口腔外科が開設され３年目となりますが昨年度と比較して紹介患者数は320件増加し1312件、逆紹介患者数は204件増加し、1,083件となっております。

資料１－３をご覧ください。

令和４年４月から令和５年３月の累計 紹介元・逆紹介先 医療機関一覧です。紹介元は、医療機関名と紹介患者数、その内の検査件数を表しています。紹介元および逆紹介先医療機関共に、やまもと内科クリニック・大木医院・藤川整形外科の順に多くなっています。

資料１－４をご覧ください。

予約検査の件数表です。令和４年４月から令和５年３月の実績です。前年度と比較いたしまして増加している検査項目は、MRI・骨密度・マンモグラフィ・GF・腹部エコー・心臓エコー・甲状腺エコー・頸動脈エコー・脳波・筋電図です。その中で特に、腹部エコー、GF・筋電図は大きく増加しています。土曜日の検査予約につきましては、４月からの１年間で121件のご紹介がありました。

資料１－５をご覧ください。

令和４年４月から令和５年３月までの、月別 相談延べ件数表です。相談には、看護師と社会福祉士が対応しています。相談対応総数は13,391件で、相談内容の多い項目としては、在宅退院に向けての退院相談が最も多く、次にほぼ同数で転院に向けての退院相談、

次に施設に向けての退院相談となっています。コロナ禍となり在宅を希望される患者さんが増加し、今年度初めて在宅への退院相談が転院に向けての退院相談を上回る結果となりました。対応方法は面会制限の影響のため電話での相談対応が昨年度と同様、相談件数が多く前年度と比較いたしまして 224 件増加し、合計 5,459 件となり、院外関係者との連絡調整が 425 件増加し、合計 5,689 件となりました。

資料 1-6 をご覧ください。

令和 4 年度地域医療機関と連携し、茅ヶ崎市立病院で開催した研修会等の実績です。4 月から 3 月までに 22 回開催いたしました。開催方法は対面または ZOOM でのオンライン開催など感染対策を行いながら実施しました。今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながらセミナー等の開催を行っていきたいと考えています。

資料 1-7 をご覧ください。

令和 4 年度の登録医救急診察専用回線の対応件数となります。

対応件数は 329 件で前年度より 18 件減少しました。入院になったケースは 120 件で、約 37% となっており、回線の目的にあった患者さんのご紹介を多くいただいています。診療科については、例年通り小児科が最も多く、次に内科一般となっています。入電時間も例年と変わりなく、午前は 11 時台で午後は 16 時台が最も多くなっています。医師の交替等により、電話におつなぎするのに時間を要してしまうケースも時に発生しております。問題ケースは改善をはかりながら、なるべくお待たせすることなく、ご指定の診療科医師におつなぎできるよう努めてまいります。

報告は以上となります。

○大木委員長

説明が終わりました。議題（1）について委員の皆様からご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○山口委員

登録医の救急回線、小児科大変お世話になって助かっております。小児科の先生方の以前より回線が認知されているというか、慣れてこられたようで非常に話がスムーズに進んでありがたい限りなんですけど、窓口の方が慣れていらっしゃる方がたまにいて、そのあたりを周知、お願いしたいのと、窓口受ける電話が小さいので音が小さくてコミュニケーションがとりづらい時があるので、改善をお願いしたいと思います。あと、資料 1-1 で紹介率が、月によってだいぶ差があるようなんですけど、こういうのって何か要因があったりするんでしょうか。8 月で 7 割きっていると、コロナの初診の患者さんが多かったとかそういうことなんですか。

○事務局（益原患者支援センター所長）

先生、ありがとうございます。8 月は先生、おっしゃるとおりでコロナの初診の患者さんが非常に多くて、それでいわゆる紹介率が低下したというような状況になっていました。

○大木委員長
他にございますか。

○大木委員長
他になければ議題（１）は終了したいと思います。いかがでしょうか。

○大木委員長
異議なしとのことなので、議題（１）は以上をもちまして終了といたします。次に議題（２）のがん相談支援センターの業務実績について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（岡野がん相談専従看護師）

がん相談支援センターを担当しております、がん相談専従看護師の岡野です。よろしく
お願いいたします。

それでは、がん相談支援センター令和４年度１年間の業務実績についてご説明いたします。
資料２をご覧ください。

相談件数は、１年間で延べ 830 件です。前年度より 106 件減少しました。

１人の患者さんに対して、その方の持っている問題点により複数回関わっていくため件数
の増減があります。支援方法は、対面相談が 602 件・電話相談が 226 件・文書が 2 件です。
相談依頼ルートについては、患者ご本人が一番多く 370 件、次にご家族が 154 件、医師か
らの依頼が 137 件・看護師より 65 件ありました。相談内容の内訳については症状・副作用
・後遺症の相談が、420 件、がんの治療について 275 件、在宅医療 241 件、ホスピス・緩
和ケア 127 件、不安・精神的苦痛 421 件でした。

相談内容は、不安・精神的苦痛と共に症状・副作用・後遺症などが多く、これからどの
ように治療を受けたらいいのか、抗がん剤の副作用が心配など、具体的には表せないが、
とにかく心配になってしまうなどと、１度の相談の中で様々な不安を訴えるケースが多く
ありました。気がかりなことをお聞きしながら少しでも不安が軽減出来る様に努めていま
す。今後も引き続きがん相談支援センターの支援内容を知ってもらえる様に周知活動を続
けていきたいと考えます。説明は以上になります。

○大木委員長

説明が終わりました。議題（２）について委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いした
いと思いますが、いかがでしょうか。

○大木委員長

他に質問がなければ議題（２）は終了したいと思います。いかがでしょうか。

○大木委員長

異議なしとのことなので、議題（２）は以上をもちまして終了いたします。次に議題（３）
の救急搬送状況について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（高瀬医事課長）

それでは、医事課より、救急搬送状況につきましてご説明を申し上げます。医事課長の高瀬でございます。よろしくお願いいたします。資料の差し替えが発生しておりまして、大変申し訳ございません。本日 FAX で送らせていただきました資料 3-1 と資料 3-2、事前配布させていただいております資料 3-3 によりご説明を申し上げます。資料につきましては、画面共有もさせていただきますので、ご都合に応じてご覧ください。

資料 3-1 でございます、上段の表をご覧ください。こちらは、2022 年度に広域化されました茅ヶ崎市消防の搬送件数を搬送先の医療機関ごとに月別で集計したものでございます。表の右側の欄をご覧ください。こちらは、2022 年度の月あたりの平均値を表したものでございます。茅ヶ崎市消防管内の月あたりの平均搬送件数につきましては、1,322 件 そのうち当院へは 430 件、割合で 32.5%が搬送されておりまして、令和 3 年度に比べまして 1.7 ポイントの増加となっております。搬送割合で多い順に、湘南藤沢徳洲会病院の 25.0%、湘南東部総合病院の 18.1%、茅ヶ崎徳洲会病院の 10.9%の順となっております。下段の表をご覧ください。こちらは、診療科別に救急車の受入件数と受け入れたうちの入院者数を表したのようになっております。月別の件数の合計について上段の先ほどみていただいた表の月別の合計と相違していることにお気づきの方がいらっしゃると思いますが、こちらの下段の表につきましては、茅ヶ崎市消防だけではなく、様々な消防から受けた救急搬送の数を集計しているものでございますので、ご了承ください。それでは、下段表をご覧ください。一番下の入院率のお話しとなります。一番右側の令和 4 年度に救急車で搬送された患者のうち、入院となった割合が平均で 28.8%となっております、令和 3 年度と比較して 5.4 ポイントの減少となっておりますが、入院数については令和 4 年度一番右側の欄は 129.8 人となっております。令和 3 年度の平均値の数字は記載されておきませんが、令和 3 年度が 124.7 人ですので、月平均で 5.1 人入院者数については、増加しているということになります。

各診療科の受入数の令和 3 年度比の増減につきましては、表中の 23 診療科でございますが、12 診療科で増加、9 診療科で減少、2 診療科では対象者なしとなっております。詳細については後ほどご覧いただければと思います。

続きまして資料 3-2 をご覧ください。こちらは、令和 4 年度の茅ヶ崎市消防による市立病院への搬送件数を地区別に分類したものでございます。資料一番下の合計の欄をご覧ください。一番左の茅ヶ崎地区を例としてご説明を申し上げます。合計欄の 4 つクロスしているところがございまして、右上の 3,828 件につきましては、茅ヶ崎地区から救急搬送があった件数の全体となります。左の 1,263 件が茅ヶ崎地区から当院に運ばれた患者数、ということになります。全体の患者数 3,828 件の下の 33.0%が茅ヶ崎地区から運ばれている全体の数の当院の患者数の割合となっております。以下、鶴嶺地区からは 1,366 件で 34.7%、松林地区からは 1,712 件で 36.8%、小出地区からは 197 件で 31.9%、寒川町地区からは 621 件で 22.0%となっております。また、各地区からの市立病院への搬送件数の割合は、先ほどご説明した 4 つのセルの左下になりまして、茅ヶ崎地区が 24.5%、鶴嶺地区が 26.5%、松林地区が 33.2%、小出地区が 3.8%、寒川町地区が 12.0%となっております。

続きまして資料 3-3 をご覧ください。「循環器内科 HOTLINE」の集計表となっております。

ます。「循環器内科 HOTLINE」は、スムーズな地域連携を目的として令和2年12月から運用している、地域の先生方と当院の医師を直接結ぶ仕組みとなっております。専用の電話番号を使用しているため、地域の先生方と循環器内科の医師が直接患者さんの受け入れ調整することが可能となっております。

令和3年7月に当院の医師の退職により24時間365日対応ができなくなったことを理由として一時運用を休止しておりましたが、令和4年11月より運用時間を平日8時30分から17時15分とし、運用を再開しております。

それでは、表の説明となります。上段の表は、ホットラインの利用件数と入院の有無となります。再開いたしました昨年度11月移行の実績となりまして、ホットラインを利用された方が12月まではゼロ、1月以降3月まで各月2人の計6人、そのうち4名の方が入院をされているということです。下段の来院数の内訳につきましては、すべての方が直接来院されており、救急搬送はありませんでした。

今後は地域の先生方からこの仕組みを身近に感じていただき、もっと頻繁にご利用いただけるよう、対応を検討しているところです。説明は以上でございます。

○大木委員長

説明が終わりました。議題（3）について委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大木委員長

特に質問がないようなので、議題（3）は終了したいと思います。いかがでしょうか。

○大木委員長

異議なしとのことなので、議題（3）は以上をもちまして終了いたします。次に議題（4）の2023年度計画について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（益原患者支援センター所長）

資料4をご覧ください。令和5年度の地域医療支援行事一覧になります。こちらで今年度の日程を先生方とご相談させていただきたいのですが、まず6月23日本日が、第1回の地域医療支援委員会になります。2回目は、9月の29日同じく金曜日。そのあとも、12月22日に3回目の地域医療支援委員会、3月が22日に地域医療支援委員会の4回目を開催させていただきたいと思います。先生方のご都合、いかがでしょうか。大木先生、大丈夫ですか。

○大木委員長

今のところ、大丈夫だと思います。

○事務局（益原患者支援センター所長）

ありがとうございます。それでは、今年度このスケジュールで進めさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。その他の地域医療支援研修会とまた日程決

まりましたら、速やかに医師会の先生方にご案内差し上げたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。今決まっているのが、今月の6月28日ですね、内科外科医会がごございますので、先生方のご参加もよろしくお願ひいたします。事務局からは、以上です。

○大木委員長

よろしいでしょうか。説明が終わりました。議題（4）について、委員の皆様からの何かございますでしょうか。特になければ、議題（4）は終了したいと思います。

つぎに、議題（5）のその他について委員の皆様、事務局から何かございますでしょうか。特にございませんか。では、患者支援センター担当長からですか。

○事務局（益原患者支援センター所長）

次回の支援委員会からの委員の先生方の報酬の支払い方法の変更についてご説明をさせていただきます。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

私の方から説明をさせていただきます。今まで、委員報酬の方は事務局の方から各ご施設様の方に訪問してお届けするという形でしたが、できれば2回目からは銀行振り込みという形をとりたいと考えております。先生方もいろいろお忙しいでしょうし、お時間等もございますので、可能であればそのような方法に切り替えたいと考えておりますが、先生方どうでしょうか。

○大木委員長

問題ないと思います。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

ありがとうございます。そうしましたら、手続き等がございますので、資料の準備が整いましたらまたお送りさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○大木委員長

では、よろしいでしょうかね。その他の部分に関して、何か皆さんの方からございますでしょうか。特にございませんかね。その他についてなければ、議題（5）は終了したいと思います。本日の5題はすべて終了いたしましたので、皆さん、ご協力ありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第1回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。